

第2学年2組 生活科学習指導案

1. 単元 「なつやさいをそだてよう」

2. 指導観
【こんな子どもだから】

<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の時に、あさがおを一人一鉢で育て、花を咲かせる喜びを味わっている。 ○ 家庭での学習教材などを使って、ミニトマトなどの野菜を育てている子が数名いるが、ほとんどの子は、野菜を育てた経験がなく、花が咲いて実がなる様子など野菜がどのように生長するかを知らない子が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の活動の様子や自分の気付きを絵や文で表現することができる。 ○ 自分の気付きを友達に分かってもらえるように表現することは、まだ十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動を振り返って活動を通しての発見に気付くことはできつつあるが、自分の成長について気付くことはまだ十分ではない。 ○ 自分の気付きと友達の気付きを関係づけて考え、事象を総合的に見ることは、まだできていない。
---	---	--

【本單元における具体的な支援】

こんな単元に	こんな手立てを	人とかかわる力
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の育てたい野菜を自分なりのこだわりをもって決め、その苗を自分で準備することで「自分の野菜」に対するこだわりをもち、継続的にかかわることができるようにする。 ○ 活動を通して、その変化や生長の様子に関心をもち、野菜の種類によって、違いがあることに気付いたり、植物の生態について気付いたりすることができるようにする。 ○ 自分の成長や友達のよさに気付くとともに、今後も植物を育てることで生活を豊かにしようとする意欲をもつことができるようにする。 	<p>(であう・みとおす)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜の苗を学校で一括購入するのではなく、自分の育てたい野菜を自分で決め、自分で苗を探して購入することで、自分の育てる苗にこだわりをもち、大きく元気に育てたいという願いをもって継続的に世話をすることができるようにする。 <p>(ふかめる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ野菜を選んだ友達同士で、苗の植え方や育て方の情報を交換したり、一緒に苗を植えたり育てたりしながら、その生長を喜びあい交流する中で、野菜の生長や生態に関する気付きを深めたり、広げたりすることができるようにする。 ○ お互いの気付きを交流することで違う種類の野菜の類似点や差異点に気付くことができるようにする。 ○ 子どもの気付きを共感・賞賛・驚きをもって子ども達に返し、それぞれの気付きを価値付けることで、子どもが自分や友達の気付きのよさに気付くことができるようにする。 <p>(ひろげる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者に子どもの気付きや活動のよさを伝えることで、子どもの頑張りや成長を認められるようにする。 ○ 自分や友達が「自分の野菜」に責任をもってかかわっていることに気付いたり、お互いのよさに気付いたりするとともに、これからもいろいろな植物を育てていくことで、生活を豊かにしようという意欲をもつことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族と相談しながら、自分が育てたい野菜を決めたり、自分なりのこだわりをもったりして、苗を決めたり、購入したりすることができる。 ○ 自分が育てたい野菜について植木鉢に植えるのに適しているか、またどのように育てるのかなどを家族や店の人に相談したりすることができる。 ○ 自分が見つけたことや気付いたことを、友達に分かるように表現することができる。 ○ 自分や友達が「自分の野菜」に責任をもってかかわっていることに気付いたり、お互いのよさに気付いたりすることができる。 ○ 継続的に野菜にかかわることを通して自分の成長や友達の成長に気付くことができる。

【こんな子どもに】

<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分の野菜」にこだわりをもち、大きく元気に育てたいという願いをもって、継続的に世話をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動を通して見つけたことや、気付いたことを自分なりの方法で、表現したり、友達に分かるように表現したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜の種類による生長の様子の違いに気付き、植物に親しみをもつことができるとともに、自分の成長や友達のよさに気付くことができる。
--	---	---

3. 指導計画（全15時間）

	学習活動と内容	教師の支援	評価
であう・みとおす 4時間 (本時①)	<p style="text-align: center;">野菜をうえよう。</p> <p>○ 今まで野菜を育てた経験がある子のお話を聞いたり，店や近くの畑などで見た野菜の苗や種についての話をしたりする。</p>	<p>○ 自分の持っている植木鉢で野菜を育てることを知らせる。</p> <p>○ 今週のニュース（国語）の学習をもとに野菜を育てている子のお話を聞きながら，自分が育てたことのある野菜のことや，最近店や畑で見かけたことのある野菜について想起できるようにする。</p> <p>○ 野菜には，育つ季節があることを知らせ，いろいろな野菜の育つ季節について考えることができるようにする。</p> <p>○ お便りで，子どもが自分の育てたい野菜の苗を店頭で自分で選んで帰るように保護者にお願いをする。</p> <p>○ なぜその野菜を育てようと思ったのか，なぜその苗を選んだのかなど自分なりのこだわりを表出できるようにする。</p> <p>○ 自分の選んだ苗や友達の見たり，触ったりする時間を確保する。</p> <p>○ 事前に店の人や家の人に植え方を聞いてきた子のお話をもとに植える活動をする。</p>	<p>○ 自分が育てたい野菜を決め，自分なりのこだわりをもって，苗を決めたり購入したりすることができる。 【発言・記録分析】</p> <p>○ 店の人や家族に夏に実がなる野菜や植木鉢に植えるのに適した野菜について聞いたり，本や図鑑で調べたりすることができる。 【行動・記録・発言分析】</p>
	<p>わたしは，家でミニトマトを育てているよ。この前種をまいて，昨日ちっちゃな芽がでてきたよ。</p> <p>ぼくのおじいちゃんには，野菜をいっぱい育てているよ。いつも家にたくさん野菜を持ってきてくれるよ。</p>		
	<p>○ 自分が育ててみたい野菜を考える。</p>		
	<p>この前，お店にキュウリの苗が売っているのを見たよ。キュウリを育ててみたいな。</p> <p>わたしは，イチゴが好きだからイチゴを育てたいけど，イチゴの苗って売っているのかな。</p>		
	<p>○ お店に行って自分が育てたい野菜の苗を購入する。</p>		
	<p>ぼくは，ナスにしたよ。実がなったらお母さんに料理してもらったよ。この苗は，売っている中で一番くきが太かったんだよ。</p> <p>わたしは，ほんとはキュウリにしたかったけどお店の人が植木鉢じゃ無理って言ったからお父さんの好きなエダマメにしたよ。</p>		
	<p>○ 自分が選んだ苗への想いを出し合ったりお互いの苗を見たり，触ったりする。</p>		
	<p>へーえ。トマトの苗ってトマトのにおいがするんだね。</p> <p>ナスのはっぱの線って紫色だね。ナスの色と同じだね。</p>		
	<p>○ 野菜の苗を植える。</p>		
	<p>ポットから苗を出すときは，くきや根が傷つかないようにそっと出さなきゃいけないっておじいちゃんが言ってたよ。</p> <p>ポットの土はつけたままで植えるってお店の人が教えてくれたよ。</p>		
ふかめる 8時間	<p style="text-align: center;">野菜をそだてよう。</p> <p>○ 毎日の継続観察の中で，気付いたことや初めて知ったことなどを朝の会や帰りの会の中で発表したり，カードにかいて掲示したりする。</p>	<p>○ 子どもたちが意欲をもって継続的に栽培活動に取り組めるよう水やりや観察の時間を確保したり，生育の様子を友達に知らせるカードを準備したり，困ったことや分からないことがあったときは，友達同士で相談したり，資料を調べたりできるような時間や場を確保していく。</p> <p>○ 図鑑や資料を準備し</p>	<p>○ 自分が見つけたことや気付いたことを，友達に分かるように表現することができる。 【発言・記録分析】</p> <p>○ それぞれの野菜の特徴や</p>
	<p>ぼくのトマトは，もうぼくの腰ぐらいいまで大きくなりました。葉っぱもたくさんになりました。</p> <p>エダマメの葉っぱが初めはつるつるとしてたのにだんだん毛が生えてきてちくちくになったよ。</p>		

	<p>○ 自分が気付いたことを, 出し合い交流する。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="231 268 534 470"> <p>きのうナスにつぼみができました。何色の花がさくのかな。とても楽しみです。</p> </td> <td data-bbox="534 268 837 470"> <p>わたしのオクラにも花が咲きそうです。お母さんがオクラの花は大きな黄色の花って言ってたので早く見たいです。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 492 534 694"> <p>トマトは, 葉っぱがおもしろい形で少しずつに分かれてるけど, ナスは葉っぱがつながっているよ。</p> </td> <td data-bbox="534 492 837 694"> <p>オクラやトマトの花は, 黄色だけどピーマンは白で, ナスは紫だよ。野菜の種類によって花の色も違うんだね。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 716 534 828"> <p>トマトは, 実の下の方から赤くなるよ。不思議だね。</p> </td> <td data-bbox="534 716 837 828"> <p>実は花の後にできると初めて知ったよ。</p> </td> </tr> </table>	<p>きのうナスにつぼみができました。何色の花がさくのかな。とても楽しみです。</p>	<p>わたしのオクラにも花が咲きそうです。お母さんがオクラの花は大きな黄色の花って言ってたので早く見たいです。</p>	<p>トマトは, 葉っぱがおもしろい形で少しずつに分かれてるけど, ナスは葉っぱがつながっているよ。</p>	<p>オクラやトマトの花は, 黄色だけどピーマンは白で, ナスは紫だよ。野菜の種類によって花の色も違うんだね。</p>	<p>トマトは, 実の下の方から赤くなるよ。不思議だね。</p>	<p>実は花の後にできると初めて知ったよ。</p>	<p>子どもたちが知りたいことや調べたいことを自分で調べることができるようしておく。</p> <p>○ 子どもの気付きを広げ深めるために, 他の種類の野菜と比較できるような, また, 葉や茎, 実の形状などについて深く観察したりするような視点に立った活動のめあてを時々教師側から与えるようにする。</p> <p>○ 子どもの気付きを交流する場を設定する。その際, お互いの気付きの共通点や差異点をはっきりするようにまとめることで, 子どもの気付きが深まったり広がったりするようにする。</p>	<p>類似点や差異点に気付くことができる。 【発言・記録分析】</p> <p>○ 自分の育てている野菜の育て方を図鑑や本で調べたり, 野菜について詳しい人に聞いたりすることができる。 【行動・記録・発言分析】</p>
<p>きのうナスにつぼみができました。何色の花がさくのかな。とても楽しみです。</p>	<p>わたしのオクラにも花が咲きそうです。お母さんがオクラの花は大きな黄色の花って言ってたので早く見たいです。</p>								
<p>トマトは, 葉っぱがおもしろい形で少しずつに分かれてるけど, ナスは葉っぱがつながっているよ。</p>	<p>オクラやトマトの花は, 黄色だけどピーマンは白で, ナスは紫だよ。野菜の種類によって花の色も違うんだね。</p>								
<p>トマトは, 実の下の方から赤くなるよ。不思議だね。</p>	<p>実は花の後にできると初めて知ったよ。</p>								
<p>ひろげる 3時間</p>	<p>野菜を収穫しよう。</p> <p>○ できた実を収穫する。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="231 985 534 1164"> <p>ミニトマトの実が6個赤くなりました。今日お母さんにサラダに入れてもらいます。</p> </td> <td data-bbox="534 985 837 1164"> <p>ナスが1本できました。実の上のところにとげみたいのがあってちくちくしています。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1187 534 1388"> <p>昨日, エダマメを茹でて食べました。お父さんが「今まで食べたエダマメの中で一番おいしいって言ってくれました。</p> </td> <td data-bbox="534 1187 837 1388"> <p>オクラの実を持って帰ったらお母さんが「新鮮野菜だね。」って言って, おみそ汁に入れてくれたよ。とてもおいしかった。</p> </td> </tr> </table>	<p>ミニトマトの実が6個赤くなりました。今日お母さんにサラダに入れてもらいます。</p>	<p>ナスが1本できました。実の上のところにとげみたいのがあってちくちくしています。</p>	<p>昨日, エダマメを茹でて食べました。お父さんが「今まで食べたエダマメの中で一番おいしいって言ってくれました。</p>	<p>オクラの実を持って帰ったらお母さんが「新鮮野菜だね。」って言って, おみそ汁に入れてくれたよ。とてもおいしかった。</p>	<p>○ 学級通信などを使って, 保護者に子どもの気付きや活動のよさを伝えることで, 子どもの頑張りや成長を認められるようにする。</p>	<p>○ 自分や友達が「自分の野菜」に責任をもってかかわっていることに気付いたり, お互いのよさに気付いたりすることができる。 【発言・記録分析】</p>		
<p>ミニトマトの実が6個赤くなりました。今日お母さんにサラダに入れてもらいます。</p>	<p>ナスが1本できました。実の上のところにとげみたいのがあってちくちくしています。</p>								
<p>昨日, エダマメを茹でて食べました。お父さんが「今まで食べたエダマメの中で一番おいしいって言ってくれました。</p>	<p>オクラの実を持って帰ったらお母さんが「新鮮野菜だね。」って言って, おみそ汁に入れてくれたよ。とてもおいしかった。</p>								
<p>(本時②)</p>	<p>○ 友達とお互いの気付きについて交流し, それぞれの育てている野菜の特徴についてまとめる。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="231 1523 534 1724"> <p>トマトの葉っぱは, ギザギザで, 毛は葉の両面にも茎にも生えています。わき芽を取ったらトマトのにおいがするよ。</p> </td> <td data-bbox="534 1523 837 1724"> <p>ナスは, 花が紫で葉の裏の模様が太いです。花が咲いた後に実ができます。茎も紫なんだよ。実の上にとげがあるよ。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1747 534 1859"> <p>野菜は, 花が咲いた後に実ができるんだね。</p> </td> <td data-bbox="534 1747 837 1859"> <p>トウモロコシとキュウリにはオバナとメバナがあるね。</p> </td> </tr> </table> <p>○ 自分の活動を振り返る。</p> <p>自分の野菜の世話がしっかりできて, おいしい野菜を食べることができたよ。野菜のこともたくさん知ったよ。今度は, また違う野菜を育ててみたいな。</p>	<p>トマトの葉っぱは, ギザギザで, 毛は葉の両面にも茎にも生えています。わき芽を取ったらトマトのにおいがするよ。</p>	<p>ナスは, 花が紫で葉の裏の模様が太いです。花が咲いた後に実ができます。茎も紫なんだよ。実の上にとげがあるよ。</p>	<p>野菜は, 花が咲いた後に実ができるんだね。</p>	<p>トウモロコシとキュウリにはオバナとメバナがあるね。</p>	<p>○ 国語の単元「生きものかんさつカード」でまとめたことをもとに発表するようにする。</p> <p>○ お互いの気付きの共通点や差異点をはっきりするようにまとめることで, 子どもの気付きが深まったり広がったりするようにする。</p> <p>○ 栽培活動を振り返り, 自分や友達が「自分の野菜」に責任をもってかかわってきたことに気付くようにすることで自分の成長やお互いのよさに気付くことができるようにする。また, これからもいろいろな植物を育てていく</p>	<p>○ 自分が見つけたことや気付いたことを, 友達に分かるように表現することができる。 【発言・記録分析】</p> <p>○ それぞれの野菜の特徴や類似点や差異点に気付くことができる。 【発言・記録分析】</p> <p>○ 継続的に野菜にかかわってきた自分の活動を振り返り, 自分の成長に気付くことができる。 【発言・記録分析】</p>		
<p>トマトの葉っぱは, ギザギザで, 毛は葉の両面にも茎にも生えています。わき芽を取ったらトマトのにおいがするよ。</p>	<p>ナスは, 花が紫で葉の裏の模様が太いです。花が咲いた後に実ができます。茎も紫なんだよ。実の上にとげがあるよ。</p>								
<p>野菜は, 花が咲いた後に実ができるんだね。</p>	<p>トウモロコシとキュウリにはオバナとメバナがあるね。</p>								

	ことで、生活を豊かにしていこうという意欲をもつことができるようにする。	【析】
--	-------------------------------------	-----

4. 本 時① 平成16年5月12日（水）第5校時 於 2年2組教室・裏庭

5. 本時の目標

- 自分なりのこだわりをもって選んだ野菜の苗について、なぜその野菜を選んだのかやなぜその苗を選んだのかを友達に分かるように表現することができる。
- 友だちの苗への想いを聞いて、自分の想いや願いや気付きの類似点や差異点に気付くとともに、友だちの想いや気付きのよさに気付くことができる。
- 自分の苗を大切に扱い、適切に植えることができる。
- 自分なりに野菜の生長への見通しをもち、これから継続的に世話をしていこうという意欲をもつことができる。

6. 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、自分や家族の好きな野菜や育ててみたい野菜について考え、何を育てるかを決めるために、家族に相談したり、園芸店や種苗店で探したり、本や図鑑で調べたりしてきた。そして、「植木鉢でも育ち、今の時期に適した野菜」という条件を満たす野菜を決め、準備している。その際、子どもたちは、直接自分で苗を確かめ、「一番元気そうな苗だから。」「一番茎が太い苗だから。」など自分なりのこだわりをもって選んできている。

そこで、本時の表現活動では、自分なりの苗へのこだわり（「なぜその野菜を選んだのか。」や「なぜその苗を選んだのか。」）について、発表し、自分の苗への想いを再認識できるようにするとともに、友達の発表を聞きながら、お互いの想いのよさや大切さに気付くとともに、誰もが自分なりのこだわりをもって苗を選び、大切に育てようとしていることに気付くようにしたい。

その上で、お互いに協力しながら、苗を植え、これから継続的に世話をしていこうという意欲をもつことができるようにしたい。

7. 準 備

- 【子ども】 自分の選んだ苗
自分の想いを発表するためのプリント

8. 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援 ※評価
1. 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> めあて じぶんのそだてるなえのことをともだちにしょうかいしよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分がなぜその野菜を選んだのか、また、なぜその苗を選んだのかという自分の苗に対するこだわりを発表するためのプリントを準備しておく。
2. 自分の書いたカードをもとに発表する。 <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 僕は、トマトが好きなのでトマトを選びました。お店に行ったら、トマトの種類がいろいろあったので、びっくりしました。 </div> <div style="width: 50%; text-align: right;">  </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 私はキュウリにしたかったけどお店になかったので、オクラにしました。オクラもおいしいから好きです。このオクラは、お店で売っている中で、一番葉っぱが多くて元気そうだったのでこれにしました。 </div> <div style="width: 50%; text-align: right;">  </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ぼくは、お父さんが大好きなエダマメにしました。エダマメには、葉っぱやくきに毛が生えています。どんなふうにもメがでるのか楽しみです。 </div> <div style="width: 50%; text-align: right;">  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表の内容は、自分の苗に対するこだわりだけではなく、苗を買いに行ったときに気付いたことや自分の苗を見て気付いたことなども発表してよいことを知らせる。 ○ 自分の発表と似ているところや違うところを考えながら、聞くようにする。 ※ 自分が見たことや聞いたこと、気付いたことをもとに自分の考えを発表することができる。 【発言・記録分析】 ○ 友だちの発表を聞いてそれぞれの気付きのよさに気付いた子の意見を出すようにし、気付きを広げる。

<p>3. 苗を植える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人やお店の人に植え方など聞いてきたことがあれお互いに教えあいながら協力して植える。 <p>4. 学習を振り返る。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>僕は、山木君のおじいちゃんの土をもらってミニトマトを植えました。この土は、ミニトマトがよく育つ土だそうです。たくさん実がなるかな？楽しみです。</p> </div>  </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>わたしは、今日ナスを植えました。明日から毎日お水をあげたいと思います。しっかりお世話をします。</p> </div> </div>	<p>※ 友達の発表を聞いて、自分の気付きと似ているところや違っているところに気付き、自分や友だちの気付きのよさに気付くことができる。</p> <p>【発言・記録分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの鉢には、事前に子どもと一緒に土の準備しておく。 ○ ポットから取り出すときに、苗をいためないように気を付けるようにする。 <p>※ 学習を振り返り、これから継続的にお世話をしようという意欲をもつことができる。</p> <p>【発言分析】</p>
---	---

4. 本 時② 平成16年7月14日（水）第5校時 於 2年2組教室

5. 本時の目標

- 自分の育てている野菜について気付いたことを、友達に分かるように表現することができる。
- 友達の野菜に関して気付いたことを聞いて、それぞれの野菜の類似点や差異点に気付くことができる。
- 友達の気付きを聞いて、細かいところまでよく見ていることや、着眼点のよさなど、気付きのよさに気付くことができる。

6. 本時指導の考え方

何を育てるのかを自分で考え、自分で購入してきた野菜の苗を5月12日に植えてから、子どもたちは、大きな実がなるように、おいしい実がなるようにと、水やり、追肥、支柱立てなどの世話を続けてきた。そのような継続的ななかかわりの中で、子どもたちは、野菜にも花が咲くことや花の後に実がなること、葉の形や葉脈の形が1枚1枚違うことなど、様々なことに気付いている。そして、この気付きを生かし、国語の学習の「生きものかんさつカード」の単元では、自分の野菜について、花・実・葉・茎などの項目を立てて、今までの気付きをまとめている。

そこで本時は、それぞれの気付きを出し合って交流し、それぞれの野菜の特徴をまとめるとともに、それぞれの野菜の類似点や差異点について整理し、2の2なりの野菜に関する文化を創りたい。そのために、子どもの発表したことを表にまとめて板書し、それぞれの野菜の特徴や違いが明確になるように支援する。

さらに、子どもによっては、自分の野菜にかかわる中で、様々なことに気付いているのにその気付きを自覚できないでいる子もいる。そういった子にとって友達の気付きを聞くことは、「あっ、それはぼくのトマトもそうになっている。」「本当だ。私のキュウリにも同じものがある。」など自分の気付きを自覚する場になると考える。また、自分の野菜のいつも同じようなところを見て、なかなか他の部分への気付きが広がらない子にとっては、友達の多岐に渡る気付きを聞くことによって、「今度は私も他の部分を見てみよう。」と視野を広げるきっかけになると考える。夏休みを控え、子どもたちは、植木鉢を家庭に持ち帰り、世話を続けることになっている。本時の気付きの交流の中で得るであろう見方や考え方の広がりや深まりが、今後の継続的ななかかわりの中の気付きの深まりや広がりにつながるように支援したい。

7. 準備

【子ども】 生きものかんさつカードでまとめたもの、今までの活動で書いたカード
それぞれの野菜の鉢（各種1鉢）

【教師】 子どもの気付きを板書するための表

8. 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援 ※評価
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 自分がそだてているやさしいについて、気づいたことを友だちに知らせよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の単元「生きものかんさつカード」の時間にまとめたものを各自準備するようにする。 ○ それぞれの野菜の特徴や類似点・差異点を分かりやすくする

2. 自分の書いたカードをもとに発表する。

トマトは、葉っぱがギザギザでわき芽をとるとトマトのにおいがします。毛は葉の表にも裏にも生えています。花は黄色です。実は全部同じ方向にできます。



キュウリには、オバナとメバナがあって、メバナにしか実はなりません。花は黄色で葉っぱはザラザラしています。茎がくねくねしているののでつるが支柱に巻き付いて茎を支えます。

ナスは、葉の裏の模様が太い紫色です。花も茎も紫です。葉も紫に見ることがあります。この紫は濃くなったり薄くなったりします。



3. それぞれの野菜についてまとめる。



野菜にも花が咲いて、その後に実がなることが分かったよ。葉っぱの形はギザギザなのが多いけどピーマンやナスやトウモロコシは違うね。毛があるのとないのもあるね。

トウモロコシやキュウリにはオバナとメバナがあるんだね。どっちもメバナにしか実はならないんだね。



ために表を準備し，子どもの発表をまとめて板書できるようにする。

○ 自分の気付いたことと同じところや違うところを考えながら，聞くようにする。

※ 自分が見たことや気付いたことについて友達に分かるように発表することができる。
【発言・記録分析】

○ 友だちの発表を聞いて分かりにくいところは質問したり，ま

た，言葉で説明しにくいところは実際の野菜を見せながら説明したりするようにする。

※ 友達の発表を聞いて，自分の気付きと似ているところや違ってるところに気付き，自分や友だちの気付きのよさに気付くことができる。
【発言・記録分析】

※ 学習を振り返り，これからの継続的なお世話の中でもっともっと新しい発見をしていきたいという意欲をもつことができる。
【発言分析】